

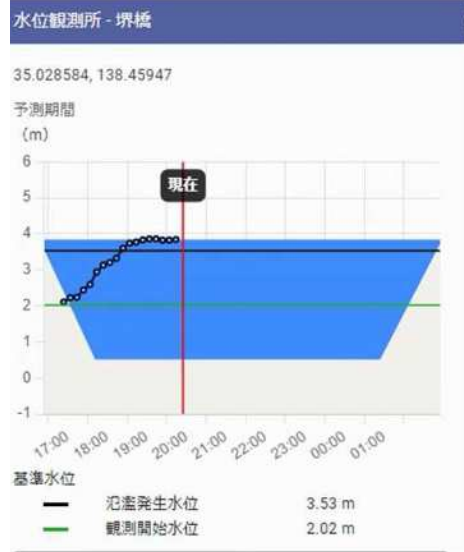
4. 表示コンテンツの追加

表示コンテンツの追加

	内容	概要
①	支川の流域の表示	・各支川の流域を表示
②	浸水想定区域図の表示	・本川・支川の浸水想定区域図を表示
③	浸水センサーによる浸水推定範囲の表示	・下水道部局にて市内100地点に設置した浸水センサー情報を市民へ表示 ・センサーの浸水状況から、面的な浸水範囲を推定し、システム上に表示
④	水害時における車両の避難場所の表示	・「水害時緊急避難公共駐車場」を表示 ・「水害時緊急避難協力駐車場(民間企業の協力)」を表示
⑤	破堤計算結果	・河道水位より破堤する危険性のある地点をクリックすることで破堤計算を実施して表示(計算には10分程度要する。)

①支川の流域の表示

- 令和6年台風10号にて、静岡市では危機管理型水位計の情報を確認し、支川の流域での避難情報を発令
- 市民にとって支川の流域はわかりにくいため表示



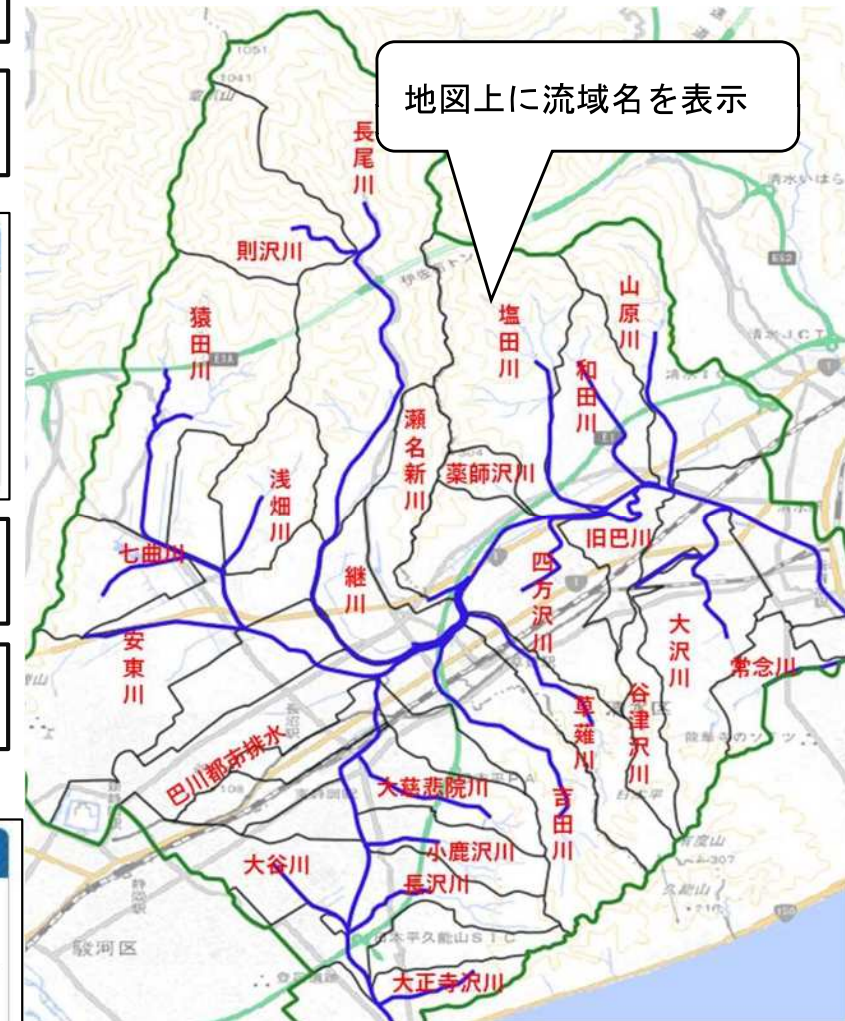
R6.8.29 18:24
準用河川和田川の界橋(市管理)で越水を確認

R6.8.29 18:43
準用河川和田川流域で緊急安全確保を発令



R6.8.31 16:14
準用河川常念川で越水を確認。

R6.8.31 16:27
準用河川常念川流域で避難指示を発令



②浸水想定区域の表示

- 避難情報の発令に際し、「〇〇川の浸水想定区域にお住まいの方は～」と表現されることが、浸水想定区域が市民にとってわかりにくい
- 昨今、支川の一部(法定河川のみ)で浸水想定区域図が作成されたため、更に煩雑化している

第1回研究会 京都大学 川池委員 ご発言

中小河川の洪水浸水想定区域図は、今後どの程度の河川を対象河川として追加する予定か。

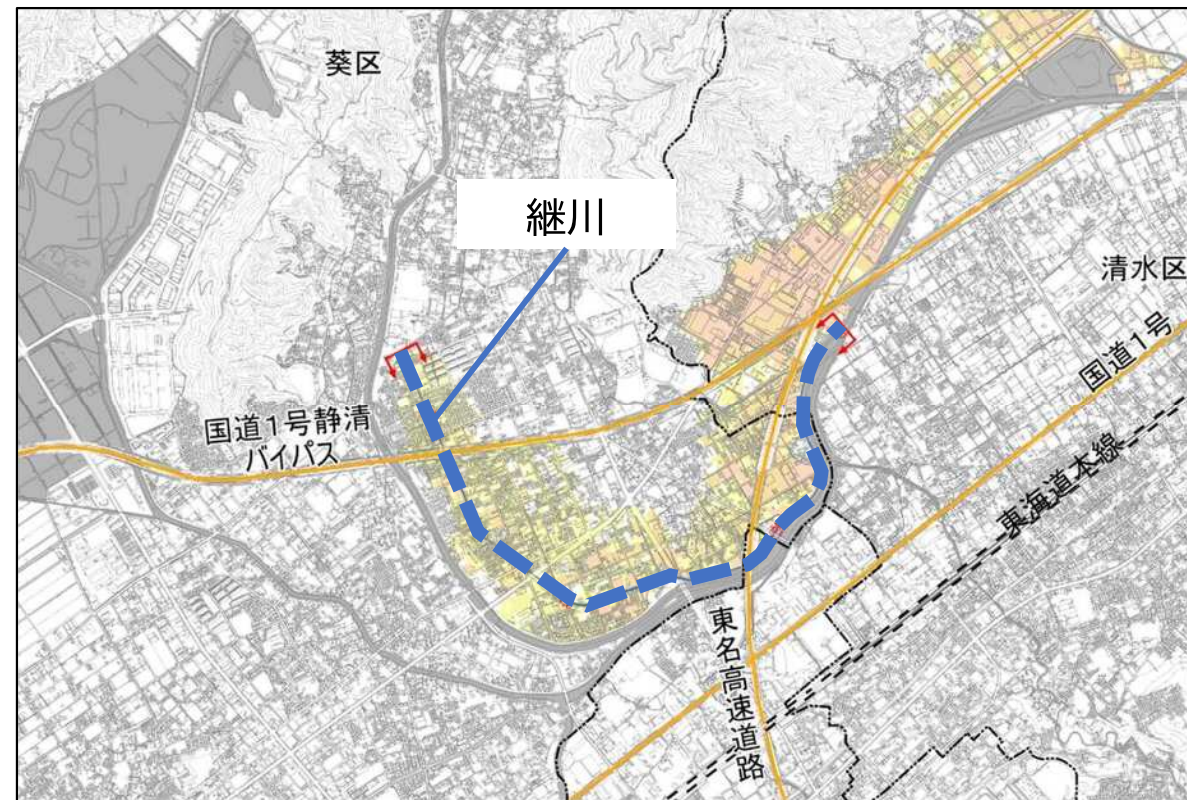
【静岡県 望月委員のご回答】 基本的に全県のすべての河川で作成を進めている。

■作成済みの浸水想定区域図(11河川)

	河川名	区分	告示日 公表日
1	巴川	水位周知河川	H29.12.26
2	長尾川	水位周知河川	H30.5.29
3	大沢川	指定なし	R4.6.30
4	山原川	指定なし	R4.6.30
5	塩田川	指定なし	R4.6.30
6	草薙川	指定なし	R4.6.30
7	継川	指定なし	R4.6.30
8	瀬名新川	指定なし	R4.6.30
9	則沢川	指定なし	R4.6.30
10	吉田川	指定なし	R4.6.30
11	大正寺沢川※	指定なし	R6.3.29

※大正寺沢川のみ市管理河川

■継川 浸水想定区域図



③浸水センサーによる浸水推定範囲の表示

- 下水道部局にて市内約100地点に設置した浸水センサー情報を表示(令和7年2月供用開始予定)。
- センサーの浸水状況から、面的な浸水範囲を推定し、システム上に表示(内部利用)

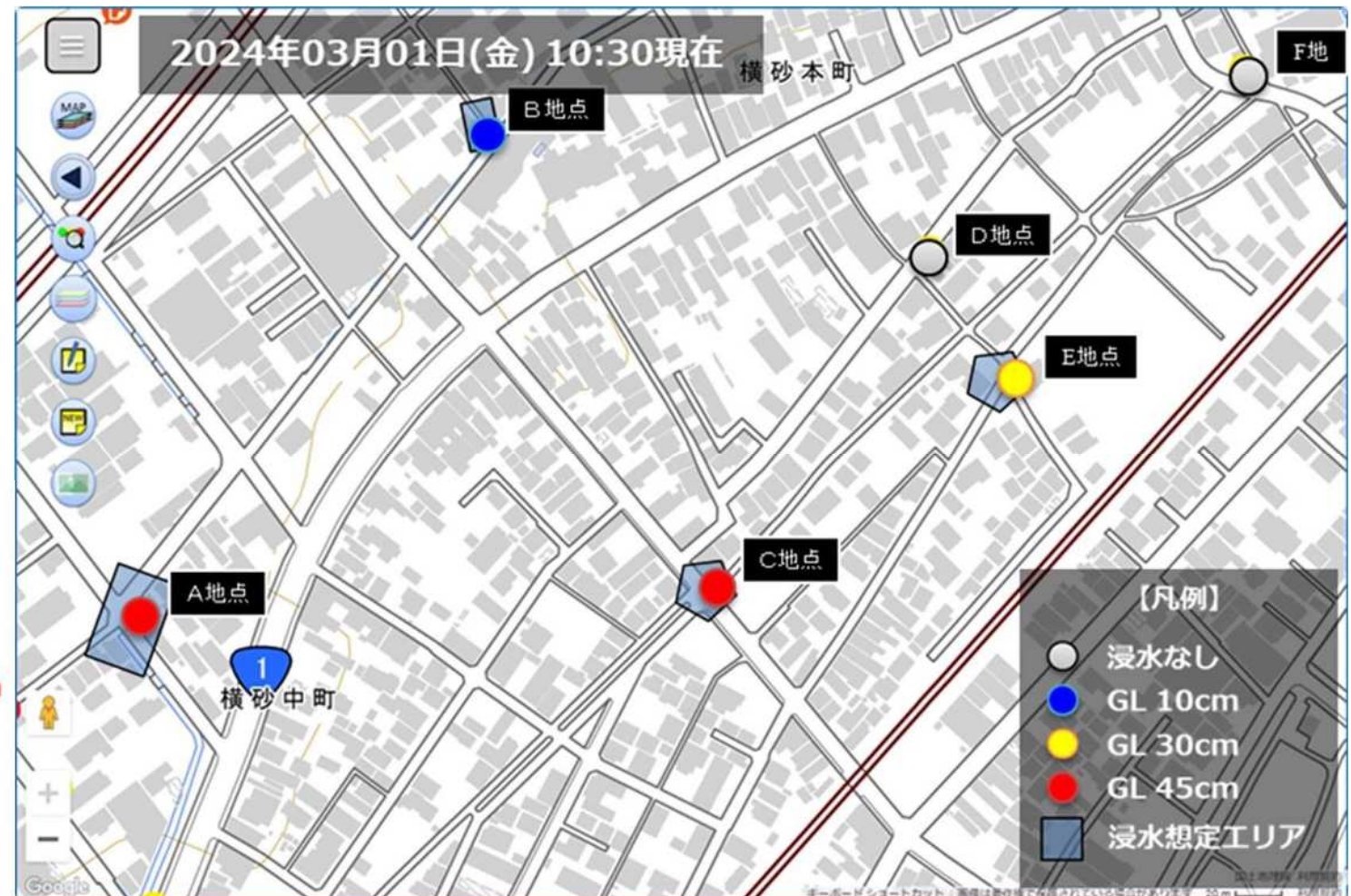
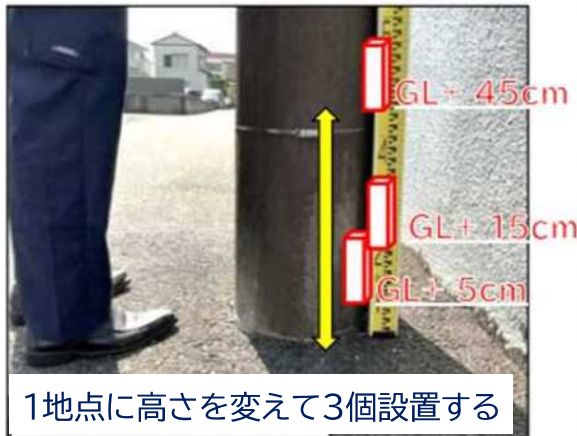
第1回研究会 京都大学 川池委員 ご発言

住民から浸水情報をリアルタイムで収集し、システムでの予測計算に反映することは考えているか。

【事務局回答】来年度以降、浸水が想定される箇所に浸水センサーを設置する予定であり、これらの情報も活用したい

■浸水センサーの
表示画面(イメージ)

■浸水センサー設置方法



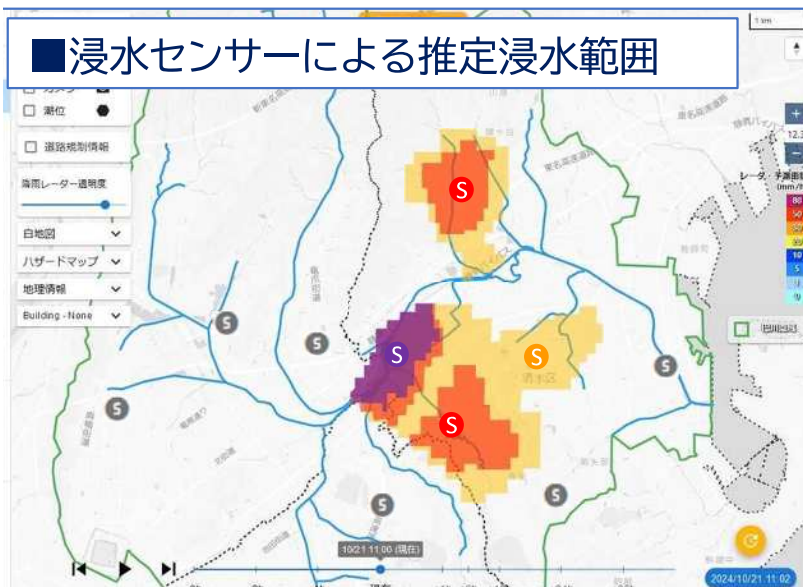
③浸水センサーによる浸水推定範囲の表示

- 下水道部局にて市内100地点に設置した浸水センサー情報を表示(令和7年2月供用開始予定)。
- センサーの浸水状況から、**面的な浸水範囲を推定**し、システム上に表示

■システムによる氾濫解析

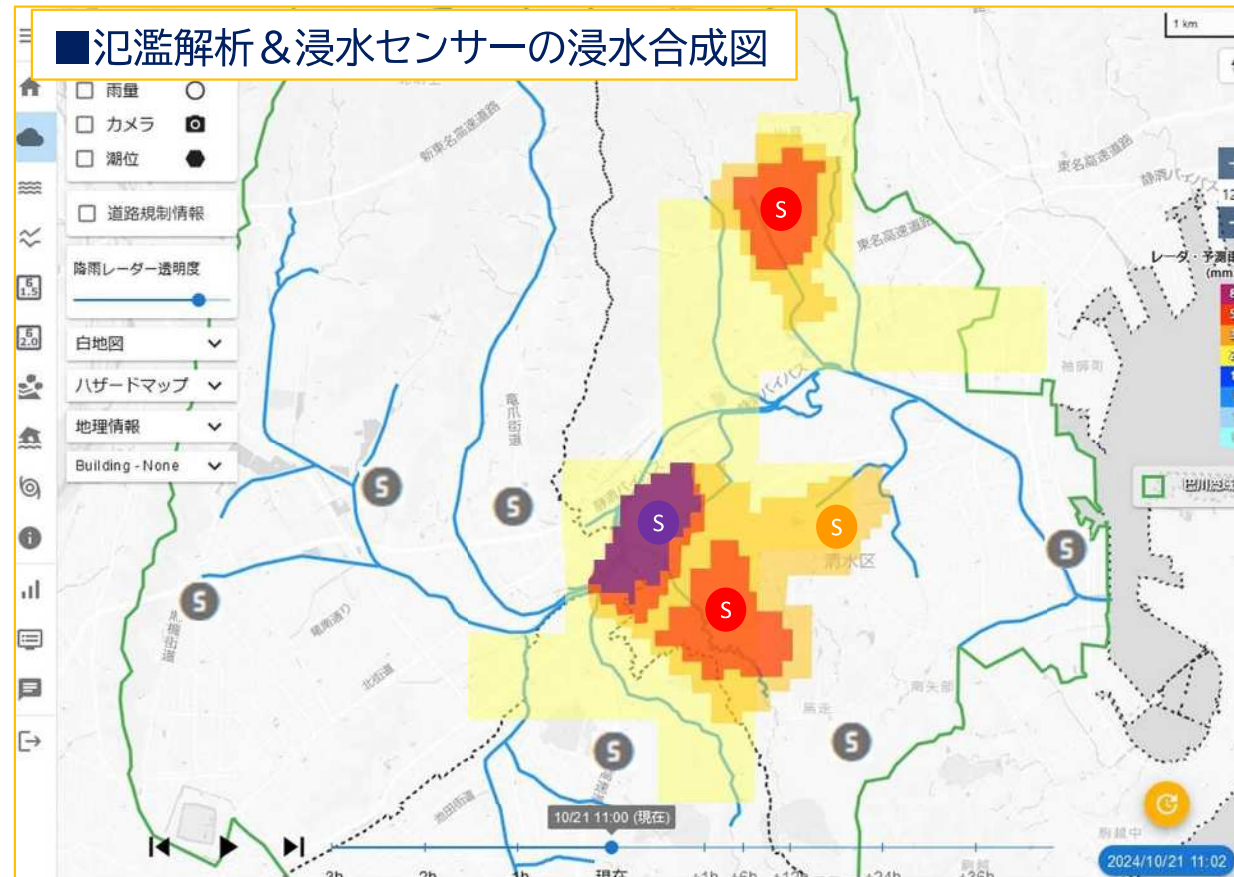


■浸水センサーによる推定浸水範囲



「システムによる氾濫解析」と「浸水センサーによる推定浸水範囲」を重ねて表示

■氾濫解析 & 浸水センサーの浸水合成図



【検討課題】

- ・浸水合成図を現在の浸水状況(予測ではない)として市民に公表して良いか。

④水害時における車両の避難場所の表示

- 「水害時緊急避難公共駐車場」、「水害時緊急避難協力駐車場」を表示する。

■水害時緊急避難公共駐車場

【利用可能な施設（令和6年9月20日時点）】

No.	施設名称	住所	利用可能場所	最大駐車 可能台数
1	静岡競輪場	駿河区小鹿	南第4駐車場 南第5駐車場	500台 400台
2	秋葉山公園	清水区八坂東一丁目	駐車場	100台
3	旧清水南部公民館跡地	清水区村松原一丁目 3-1179-1	公民館跡地 (未舗装)	30台
合計			3施設	1,030台

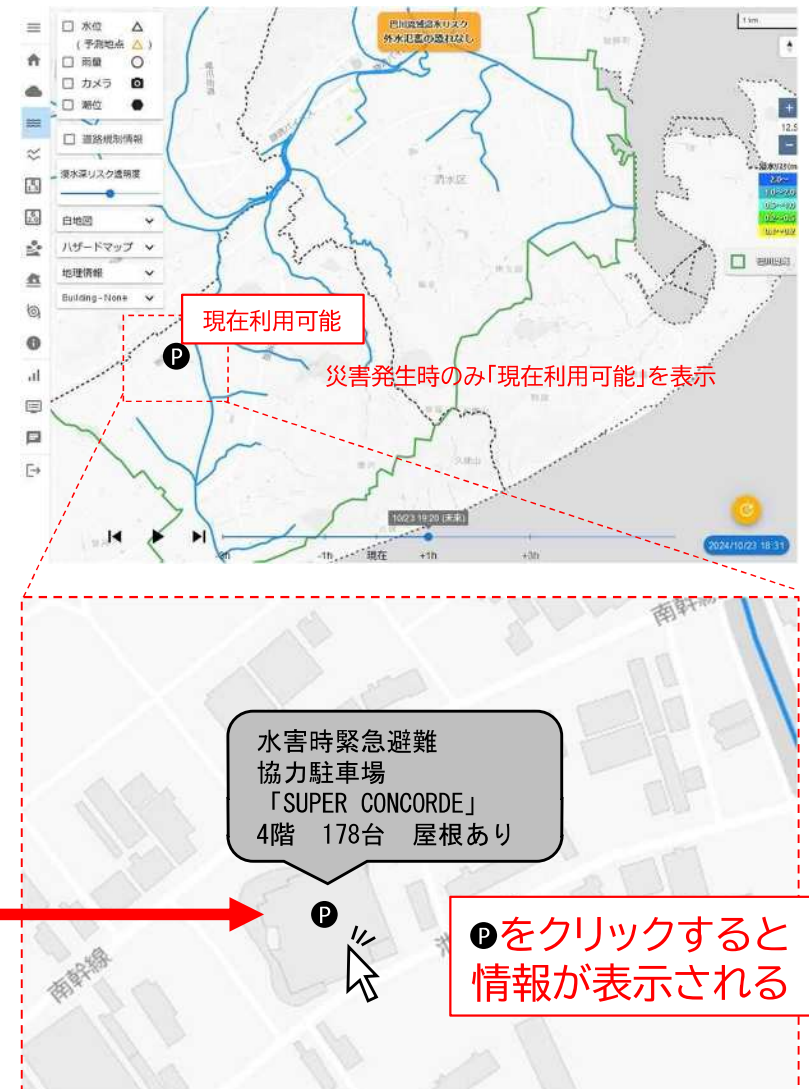
■水害時緊急避難協力駐車場(民間企業の協力)

【利用可能な施設（令和6年9月20日時点）】

施設名	所在地	利用可能場所	最大駐車可能台数
SUPER CONCORDE	駿河区曲金七丁目	立体駐車場4階部分（※）	178台（屋根あり）

（※）原則、立体駐車場の4階部分としますが、状況に応じて縮小・拡大します。

■画面例



⑤破堤計算結果

第1回研究会 京都大学 川池委員 ご発言

堤防決壊に関する内容が無かったが、堤防決壊をどのように考慮することを考えているか。

- 巴川本川はほとんどが掘込河道で破堤する箇所は限定的
- また、洪水時中に破堤を確認し、システムを操作することは困難。
- 既往洪水で破堤した場合の検証や、破堤してしまった場合の復旧前のシミュレーションに活用

■破堤計算の表示画面

